

項	育てたい 子供の姿	重点目標 (努力目標)	具体的な取組	取組状況・成果・課題	自己 評価 (4点満点)	学校関係者からいただいた 評価・意見等	改善策 左欄(学校関係者からいただいた評価・意見等)を踏まえての改善策には、下線を
心豊かにたくましく生きる 神戸の子供を育てる	心豊かに 明るく 生き つよ く 学 ぶ 子 を 目 指 し て	明るく	気持ちの良い挨拶	委員会活動でも挨拶運動をするなど児童の中にも意識は上がってきている。まだまだ一部児童に不十分な状況が見られ、その差が大きい。	2.8	PTAや保護者に対してはよく挨拶できている。地域の協力で、地域の方への挨拶も向上してきている。もう一息である。	地域とも連携し、挨拶を大切にしようとする意識を定着させていきたい。全校的な取組として徹底していきたい。
		(集団生活における他者と支え合う心を育むプラン)	あたたかい言葉づかい	学校教育全般において、指導してきたことが少しずつ浸透している。一部児童にはまだまだ伝わらず、苦慮しながらも粘り強く取り組んでいる。	2.7	昨年度より学校が落ち着いてきた。さらに、この状況が好転するよう、地域でも積極的に言葉かけをしていく。	全職員で、全児童に対して同一歩調で粘り強く働きかけ、意識の向上に努める。朝会指導・学級指導・全職員の言葉かけ・状況に応じた評価(褒める 紹介して広める等)のシンプルサイクル 家庭や地域にも広げ、一体化して取り組む。
		つよく	自他を大切にすること	道徳や学級活動などを通して指導していることが実を結び始めている。自尊感情をじっくり育てていく必要を感じている。	2.5	なかなかすぐには育たない。地域・家庭でも意識して取り組んでいく必要がある。どんなことができるか検討していきたい。	連の流れを大切にし、継続していき。より児童が相談しやすい関係性をつくり、より早期に対応できる体制づくりに取り組む。
		(自尊感情をもち、心身共にすこやかな心と体を育むプラン)	体力の向上	体育の授業や集会活動を中心に運動の機会を提供してきた。休み時間に遊ぶ姿も増えてきている。さらに運動のブームを起し、日常の遊びの中に運動育美を浸透させていく必要がある。	3.3	現状の取組を続けてほしい。放課後の児童の様子など、地域でも気になることがあれば伝えていきたい。	年間を通じた体力アップ活動の取組を継続・強化していきたい。体育授業の充実や朝時間や休み時間への運動遊びの浸透を目指したい。
		よく学ぶ	最後までやり切る粘り強さ	学習カリキュラムを確実に熟すことはできたが、児童の大半が最後まで十分にやり切れているとは言えない。つまずきがあっても粘り強く取り組めるよう重点単元を設定し、徹底して取り組んでいきたい。	2.7	責任感を育てるという意味でも大切にしたい。何事においても大切なおことで地域でもできることを考え、協力したい。	学校教育活動全般において取り組みたい。達成感や責任感を育て、自尊感情や自己有用感を向上させたい。
		よく学ぶ	学びに前向きに向かう姿勢	タブレットの利用促進により積極的に自分の課題に取り組む姿勢が身につけている。より一人一人が前向きに取り組めるよう学習の導入や学習の工夫を試みた。さらなる支援方法	3.3	子供たちが学習を楽しんでいると感じ、積極的に学習に取り組めるように取り組んでいただきたい。家庭学習(じぶん学習)や長期休業中の地域での学習等で連携して取り組みたい。	さらに分かりやすい授業づくりに努め、学ぶ楽しさや、学習への意欲を向上させていきたい。
		(自ら学ぶ姿勢の育成と向上を育むプラン)	基礎学力の定着	朝の学習や単元導入時に既習項目の確認を取り入れ、さらにタブレットを積極的に利用し、基本事項を繰り返し確実に理解できるように工夫した。	3	朝の学習や単元導入時に既習項目の確認を取り入れ、さらにタブレットを積極的に利用し、基本事項を繰り返し確実に理解できるように工夫した。	朝学習や放課後学習等の取組をさらに進め基礎基本の学習の充実を図る。じぶん学習の推進を図り、家庭学習の充実を目指す。
			話す・聞く力の向上	学校教育全般において意識してはきたが、基礎基本事項の習得が主になり、情報収集(聞く・読む)や伝達(話す・書く)に十分にに取り組めていない。	2.5	今年度の全国学習でも大きな課題となった。過去から何度も取り組んできた課題であるが、今年度、児童の実態に即した具体プランを立て、即実行に移したい。	今年度の全国学習でも大きな課題となった。過去から何度も取り組んできた課題であるが、今年度、児童の実態に即した具体プランを立て、即実行に移したい。
	あ(研 ば修 記 目 載) が	研修内容の見直し 自ら学ぶ研修の重視		全校共通の必修研修以外は各人が学びたい研修を積極的に取り入れている。研修内容、発信方法も個人の責任の下で計画して実施した。	3.3	子供たちが学習を楽しんでいると感じ、積極的に学習に取り組めるように取り組んでいただきたい。	ICT教育については、先生でも得手不得手があると思う。我々(運営協議会メンバー)もそうだが、まだまだ学んでいかなければならない。
		ICT教育の推進		今年度も大きな柱として全職員で取り組んだ。プログラミングや教科指導についても実践研修として体験する機会を設けた。	3.7	ICT教育については、先生でも得手不得手があると思う。我々(運営協議会メンバー)もそうだが、まだまだ学んでいかなければならない。	子供たちにタブレット利用促進を図ると同時に「使用上のきまり」等、ルールについても再度見直し、全職員共通した指導を行ってほしい。また、家庭にも協力を依頼し徹底していただきたい。
安全・安心で共に楽しく学校生活を送る	安全・安心で共に楽しく学校生活を送る		いじめ防止基本方針に基づきいじめ防止対策に関する取組(いじめ問題対策委員会)	6年生を中心に中学校とは積極的に児童教員で交流ができた。保護者にもその様子を伝えることができた。成果があったので継続させたい。反面、分校とは十分に連携ができていない。いじめが疑われる状況があれば情報共有し、必要に応じてケース会議を開催する体制をより強化していきたい。	3	中学校は落ち着いている。小学校もずいぶん落ち着いてきている。今年と同様の小中連携に取り組んでもらいたい。	成果のあった中学校との交流は本年度も継続させていく。分校交流については3年間コロナ関連でスラップしていたので教員の研修交流から始め、児童交流の準備を始めていきたい。(グイン)
			超過勤務時間の削減・効果的な有給休暇の取得	業務改善リーダーを中心に夏季研修で課題と実践計画を共有し2学期以降に取り組んだ。昨年度に比べて一定の改善が見られた。	2.8	現状の取組を続けてほしい。放課後の児童の様子など、地域でも気になることがあれば伝えていきたい。	現状の体制を継続・発展させていく。より児童が相談しやすい関係性をつくり、より早期に対応できる体制づくりに取り組む。
			新型コロナウイルス感染症関連	業務改善リーダーを中心に夏季研修で課題と実践計画を共有し2学期以降に取り組んだ。昨年度に比べて一定の改善が見られた。	2.8	先生方も心身ともにリフレッシュしてもらいたい。万全の体調でより子供たちに専念してもらいたい。	さらに業務を見直し、より児童に返っていく時間の確保に努めたい。授業時数の見直しを進め、児童・教員共にその恩恵を享受できるようにしていきたい。
			「すぐ-る」の活用、ホームページにおける情報発信	市教委のマニュアルに従い、校内マニュアルを策定共有できた。各行事について、状況を見ながらできる範囲でできる取組を積極的に広げていく。	3.5	コロナと共に進みながらも、地域行事等できることをさらに増やしていきたい。	この3年間で後退してしまったことについては少しずつ戻していきたい。コロナを機に改善されたことについてはさらに継続発展させていきたい。地域の意見も取り入れて新たな体制を構築していきたい。
			「すぐ-る」の活用、ホームページにおける情報発信	「すぐ-る」の活用、ホームページにおける情報発信	3.5	地域や学校運営協議会の連絡や情報共有にも利用できればありがたい。	より早くより正確な情報発信、情報共有に尽力していきたい。地域の方の情報伝達にも協力していきたい。
			登下校時の見守り運動(PTA・学校運営協議会)	PTA活動の縮小やこれまでの地域見守り組織の解散に伴い、学校運営協議会における提案をもとに全地域を巻き込む登下校見守り組織が立ち上がった。	3.5	児童の見守りを、まず取り組んでいく地域の大課題として捉え、積極的に各地域団体が協力して早期見守り体制の立ち上げに取り組んだ。さらに継続・発展させていきたい。	学校運営協議会を中心とした取組に感謝し協力していく。校内に専念するという学校の役割を果たせるよう自信を持って取り組んでいきたい。
			学校生活のルールや決まり(校則など)について	・学校のきまりや遊び・学習のマナーについて児童・保護者アンケート等を参考にしながら学校教育評価において全職員で話し合い、見直しを行った。	3.5	なぜ、そうするのか、なぜダメなのかだれにでもわかるようにしてもらいたい。地域でも同様に取り組んでいきたい。	この機に、より現状の学校、児童に合った決まりとなるよう見直しを進めたい。保護者や地域にも浸透していくようわかりやすいきまりにしていきたい。
入が つな が る み ん な の 学 校 一 つ つ り	入が つな が る み ん な の 学 校 一 つ つ り		学力の向上、体力の向上についての取組み	体育の授業や集会活動を中心に運動の機会を提供してきた。休み時間に遊ぶ姿も増えてきている。さらに運動のブームを起し、日常の遊びの中に運動育美を浸透させていきたい。	3.3	子供たちが、公園や地域で安心して遊べるように見守りたい。	年間を通じた体力アップ活動の取組を継続・強化していきたい。体育授業の充実や朝時間や休み時間への運動遊びの浸透を目指したい。
			学校評議員会との取組みの違い	学校からの取組の承認や現状の視察等にとどまらず、目指す子ども像を共有したうえで、連携してできること等を積極的に提案していただいた。	3	学校・地域・保護者がそれぞれの役割を意識してできることをやっていきたい。	第3回運営協議会において以下のことを確認した。 ・次年度は、地域性を考慮し、桜の宮中学校と連携して一つの運営協議会として活動する。 ・年3回実施し、目指す子ども像を共有し、共に役割を担っていく。 ・学校活動だけでなく、地域活動の情報交流の場としても生かしていく。
			育てたい子供の姿の共有	第1回学校運営協議会において提案し、承認を得た。	3	しっかり共有していきたい。	・そのために、児童にとっても保護者・地域にとっても、教職員にとっても親しみやすい社会に開かれた学校園になるよう努めていきたい。
			親しみやすい学校づくり	積極的な情報発信と情報共有に努めた。コロナ禍にあったができる連携を考え、常に相談し合える環境づくりに取り組んだ。	3	この状態を続けてもらいたい。	
入が つな が る み ん な の 学 校 一 つ つ り	入が つな が る み ん な の 学 校 一 つ つ り		子供を育む活動	子供が集い遊び学べる活動の実施や見守り活動組織の立ち上げなど積極的な提案をいただき、連携して取り組んだ。	3	育てたい子供の姿を共有したうえでできることを考え協力したい。	